

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	我孫子市立白山中学校 我孫子市立我孫子第一小学校 我孫子市立我孫子第四小学校	児童生徒数	724 名 514 名 881 名
テーマ	「コミュニティ・スクールについて」 ～白山中学校区のコミュニティ・スクールをどのように築いていくか 考える～		
実施形態 実施主体	オンライン 学校が主催		
日時 会場	8月24日 15:00～16:30 各校の教室		
日程 流れ・進行	1 説明 講師：教育庁教育振興部生涯学習課 主査 内容：コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について 2 グループ協議		
参加者	・地域住民 ・保護者 ・教職員 ・評議員等 合計 123名		
広報	・保護者への配付物 ・地域回覧 ・学校のホームページ		
参加者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの地域との関わりを継続できるようにしていきたい。 ・コーディネーターを通して人材の紹介をしていたよい。 ・学校と地域・保護者の方と役割分担できたらよい。 ・地域に学校の活動を開示していく。 ・学校は何を地域に求めていくのかを明らかにしていく。 ・人手が足りない場面で保護者や地域の方にお手伝いいただけるとありがたい。 ・学校と地域をつなぐ窓口が一本化されるとよい。 ・地域の方に町の良さをたくさん教えていただきたい。 ・協力したいがコロナで難しい状況がある。 ・小中一貫教育を生かした活動にしたい。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学校支援地域本部事業を土台にすればよい。
新しい生活様式の下での実施における工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール導入に向けて、中学校区（3校）の教職員と地域コーディネーター、保護者がオンラインでつながり、ミニ集会を開催した。コミュニティ・スクールを導入することにより、それぞれができることについて考え、どのようにいかしていくかオンライン上で発表し合った。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区3校での共同実施で連携を図ることができた。 ・コミュニティ・スクールについて知るきっかけとなった。 ・保護者や地域の方々が学校に寄せる期待を再認識することができた。

「学校を核とした県内 1000 か所ミニ集会」実践例

学校名	四街道市立四街道中学校 四街道市立四和小学校 四街道市立和良比小学校	児童生徒数	651 名 528 名 760 名
テーマ	共生社会の実現に向けての学校・家庭・地域の連携（特別支援教育）		
実施形態	学校ホームページへの資料掲載と講話の動画配信		
実施主体	学校と地域（地域コーディネーター・学校評議員）の主催		
期間	1月21日～2月3日		
日程 流れ・進行	<p>1（1）開催内容や各校の特別支援教育に関する取組の発表資料を3校の学校ホームページに掲載</p> <p>（2）講話（講師：淑徳大学 松浦 俊弥 教授）の動画配信</p> <p>2 意見用紙記入（教職員、保護者、地域）</p> <p>3 3校の学校ホームページにいただいた意見を掲載（後日）</p>		
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・保護者 ・教職員 ・学校評議員等 <p style="text-align: right;">合計 52名</p>		
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への配付物 ・学校のホームページ 		
参加者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・中一ギャップの解消に向けて中学校区で一貫した対応がとられていることを知り、よかった。 ・特別支援の対象外の児童においても若干の配慮が必要な場合、引き継ぎがされているのか心配である。 ・学校と家庭は協働・参加の時代という言葉が心に響いた。 ・動画・資料を拝見し、四街道市における特別支援教育の現状と課題について理解することができた。学校・家庭・地域の連携が大切であると実感した。 ・家庭においても特別支援教育について子どもたちが理解できるように話していきたい。 ・障害のある子どもを先生に任せるのではなく、地域の大人達で連携し、支えていくべきだと感じた。 ・ユニバーサルデザインは、障害のあるなし関わらず、全ての子どもたちにわかりやすくという趣旨の内容に好感が持てる。 ・何事も主体的に取り組むことは大切だが、それを行うためには準備 		

	<p>や環境が大事だと思う。先生方だけではなく、保護者地域を巻き込み理解を深めることが大切だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人の方が、障害のあるお子さんに対して偏見が強いのではないかなと思う。入学説明会等で保護者が集まる場所でコーディネーターの方に講義をしていただけるとありがたい。 ・動画の中で、主体性を持って授業に取り組むべきとおっしゃっていた件については、我が子においても当てはまることであり、改めて考えさせられた。 ・特別支援教育は、一人一人に専門的な教育が受けられることやできるだけ早く特別支援教育を受けさせることの重要性等を理解することができた。 ・学校HPの資料や動画を拝見し、四街道中学校区で子ども一人一人のニーズに応じて取り組んでいることがわかった。動画配信の内容も動画を交えながらわかりやすい解説で特別支援教育の現状を理解することができた。普段、接点のない保護者から見れば自分の子どものことで精一杯である中、理解を求めることは難しいようにも感じた。 ・動画の解説でもあったが、教職員側に関しても特別支援教育の児童・生徒に対する理解が足りず手に負えない、悪い子というレッテルを貼り適切な教育が行われていない学校もあると考えられるので、より深く理解していただけるよう定期的に研修等の機会を設けていただきたい。
<p>新しい生活様式の下での実施における工夫点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためミニ集会は中止となった。今年度は開催方法を変更し、動画配信と学校ホームページに資料を掲載して、視聴した方に意見等を提出していただく形をとった。
<p>成果と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「特別支援教育について地域や保護者の関心は高まったように感じる。特別支援教育コーディネーターを中心に四街道中学校区で連携し、『共生社会の実現に向けた学校・家庭・地域の連携』に向けて取組を進めていきたい。